

授業概要

本授業では、「家族とは何か」という基本的な問いに始まり、家族の発達と個人の発達、家族を取り巻く諸問題について取り扱う。また、家族の理解を深める際に重要となる家族療法の基礎理論や、家族療法の鍵概念についても講義する。さらに、講師の児童期・思春期の子どもを対象とした心理臨床の実践経験や、教育・医療現場での心理職としての実践経験を踏まえ、現代社会における様々な家族の形態や家族を取り巻く問題について、架空事例を用いながら講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 家族とは何か
第 2 回	家族心理学とは何か
第 3 回	家族の発達と個人の発達を概観する
第 4 回	家族心理学からみた個人の発達：家族づくりの前に
第 5 回	夫婦の成立と発達
第 6 回	乳幼児期の子どもと家族
第 7 回	児童期の子どもと家族
第 8 回	思春期・青年期の子どもと家族
第 9 回	子育て期の家族をめぐる問題①：不登校、発達障害
第 10 回	子育て期の家族をめぐる問題②：離婚
第 11 回	子育て期の家族をめぐる問題③：児童虐待、DV
第 12 回	家族が経験するストレス：災害、病気、介護など
第 13 回	家族療法の理論
第 14 回	家族療法の鍵概念
第 15 回	家族療法の実際
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 家族とは何か、現代社会における家族のあり方の多様化を含めて説明できる。
2. 家族の発達と個人の発達に関連について説明できる。
3. 家族を取り巻く問題の実際について、架空事例を通して体験的に理解できる。
4. 対人援助職として家族を支援する際の基礎知識を習得し、心構えを身につけることができる。

履修上の注意

1. 20分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻3回で1回の欠席とする。リアクションシートの未提出は、欠席とする。
2. すべての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
3. 許可のない限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
4. 授業内でグループワークを行う。積極的に参加すること。
5. 授業計画は、受講生の興味関心に応じて、適宜、内容や順番を変更する。

予習・復習

授業計画や授業内で提示する資料を参照し、各自予習復習を行う。授業内で理解したこと、疑問を持ったこと、興味をもったことをまとめる。

評価方法

リアクションシート（40%）、定期試験（60%）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は、授業内で提示する。

テキスト

各回のパワーポイント資料。その他は、適宜授業内で提示する。